



第26号 通巻第5巻第6号

1986年4月1日発行

守山市立埋蔵文化財センター

TEL 0775-85-4397

〒524-02

守山市照部町2250番地

昭和61年度当初にあたって

日増しに陽光がまぶしく春の息吹を感じる季節となりました。新年度の発足にあたり一端の所感を申し上げます。

滋賀県の南部に位置する守山市は、近江国守山城を築いた野洲川の沖積平野にあって豊富な埋蔵文化財を包蔵しています。特に旧城の大改修といわれた野洲川の改修工事のさいに発見された服部遺跡は弥生時代から古墳時代にかけての守山の歴史を語るうえで不可欠の遺跡となっており、埋蔵文化財センターとして全国的にも著名な埋蔵文化財センターとして指定された貴重な遺跡の調査研究・発掘活用を目的として発掘された。しかしながら、これら出土遺物は莫大な量にのぼり、当埋蔵文化財センターにおける処理能力は限界に達しつつあります。将来の発掘調査等を考えると、当然のことながら本来機軸である発掘研究のために埋蔵文化財センターの遺物整理を行うことが重要であると考えます。

本年度事業として、この点の諸点を踏まえ、発掘調査は勿論、整理作業をはじめ一般啓発事業としての常設展・特別展においても新手法の導入を検討し、市民に親しまれる身近な埋蔵文化財センターとして発掘したく考えております。また、学習の場としても「文化財講座」や埋蔵文化財センター「友の会」事業の充実をはかり、市域の歴史解明の拠点として埋蔵文化財の活用をはかってゆきたく考えておりますので、各位一層のご協力を期望いたします。

守山市立埋蔵文化財センター

所長 坂本良夫

昭和60年度発掘調査報告書

昭和60年度も終わり、4月より新年度のスタートです。昨年度の調査は9遺跡20件にもおぼろげですが、そのうち弥生時代中期の方形集落遺構が発見された吉身西遺跡や中世の大集落を築出した横江遺跡など、たくさんの成果をあげています。今回の「乙頁」では、昭和60年度調査成果の一部を報告したいと思います。

13	吉身西	守山町	7月	住宅建設	古墳時代前期の小型長方形 竪穴式住居2棟と後期の細 溝6条。
14	吉身西	守山町 字横枕	5月	住宅建設	弥生時代中・後期の竪穴式 住居(№2と重なる)……
15	正福寺	守山町	11月	住宅建設	柱穴(時期不詳)
16	下之郷	下之郷町 字シノ	11月	住宅建設	野洲川旧河道に関わると考 えられる礫層より土師器・ 須恵器が多く出土。
17	服部	服部町	12月	住宅建設	弥生時代中期の多数の土器 が出土。旧河道または沼沢 地と考えられる。
18	吉身南	浮気町 字梅田筋	11月	住宅建設	自然流路内より木製のはし ごや槽の一部が出土。
19	吉身南	浮気町 字西ノ口	11月	住宅建設	古墳時代のピット。
20	下之郷	下之郷町 字下鎌田	61年1月	住宅建設	弥生時代後期の方形周溝墓 2基と古墳時代前期の溝。
21	下之郷	同上	同上	同上	
22	下之郷	下之郷町 字井上	61年1月	住宅建設	弥生時代中期のピットと小 土壇等。
23	益須寺	吉身町 字浅田	12月	住宅建設	中世の掘立柱式建物(2間 ×1間以上)1棟。

第2回横江遺跡現地説明会開催される

去る3月1日(土)に横江遺跡現地説明会が開催されました。あいにくのくもり空にもかかわらず、約50名の方の見学がありました。横江遺跡は中世(鎌倉・室町時代)の村の様子を知ることができる大変重要な遺跡です。特に溝で屋敷を区画する集落は県下でもあまり例がありません。今回の説明会に参加された方はこうした中世の村の姿を実際に見て、当時の村人たちの生活に想いをはせていたようです。横江遺跡の現地説明会は昨年9月に続き2度目ですが、今年度もこうした説明会の開催を考えております。

昭和60年度発掘調査一覧表

No	遺跡名	所在地	調査時期	原因	出土遺構等
1	横江	横江町 字休見	S.58~ 継続中	宅地造成	古墳時代中期の土壇・溝。 後期の掘立柱式建物・溝。 中世の区画溝集落等。
2	吉身西	守山町 字横枕	5~6月	宅地造成	弥生時代中・後期の竪穴式 住居13棟。
3	杉江	欲賀町	6~10月	守山川 改修工事	鎌倉時代の掘立柱式建物・ 井戸・溝。 旧河道(人形出土)等。
4	益須寺	吉身町 字島田	7~8月	店舗建設	奈良時代の掘立柱式建物2 棟と土壇・溝等。
5	吉身北	梅田町	7月	店舗建設	古墳時代中・後期の竪穴式 住居3棟。奈良時代の掘立 柱式建物3棟。
6	吉身西	守山町 字南高田	10~3月	土地区画 整理	弥生時代中期の方形周溝墓 18基、後期の竪穴式住居1 棟。古墳時代の竪穴式住居 6棟・倉3棟。飛鳥時代と 考えられる井戸1基等。
7	二ノ畦	吉身町	4月	店舗建設	自然流路
8	益須寺	吉身町 字島田	10月	店舗建設	方形の掘方をもつ2間×2 間の掘立柱式建物。
9	横江	横江町	8月	石油貯蔵 庫建設	12C末頃の柱穴・溝・土壇 等。
10	吉身北 吉身南	浮気町 梅田町	11~12月	国鉄 地下道	古墳時代後期の竪穴式住居 2棟と柱穴・土壇等。
11	吉身西	守山町	12月	市民病院 駐車場	古墳時代後期の多数の柱穴・ 溝等。
12	下之郷	下之郷町 字北黒田	9月	住宅建設	弥生時代のピットと溝。

春期特別展のお知らせ

去る3月16日～23日の期間「昭和60年度調査速報展」と題して、特別展を開催しましたところ、多数の見学者があり、大変励みに感じております。

さて、今年度も3回程度の特別展を計画いたしております。第1回特別展は4月29日～5月11日までの期間で開催いたします。内容は下記の通りです。

記

開催テーマ 「守山の中世社会」
開催期間 昭和61年4月29日（火）～5月11日（日）
※期間中は無休です
開催場所 守山市立埋蔵文化財センター

「のどかな田園都市守山」は自然環境に大恵まれた町です。と同時に歴史と伝統の重みを感じさせる町でもあります。古くは縄文時代の土器や石器、新しくは中山道沿いに残る町並まで様々な歴史の生き証人達が歴史を語ってくれます。今回の特別展は、区画溝集落を検出した横江遺跡をはじめ、最近の調査で出土した古代末～中世（鎌倉・室町時代）にかけての遺物や当時の町の板元模型などを展示し、守山の中世社会について考えてみたいと思います。

皆さん、ゴールデンウィークには是非、当埋蔵文化財センターでの時間旅行をお楽しみください。

編集後記

春は木々が青々としてきて、花も咲き始めています。この頃には、小栗山氏酒蔵の「五輪餅」がおいしい季節です。この特別展は、小栗山氏酒蔵の「五輪餅」をテーマに、守山の中世社会について考えてみたいと思います。